静止画の撮影

静止画撮影モード

写メールモード
メール添付や壁紙登　が可能
連写、装飾なども可能

メール添付や壁紙登録など、
V402SHで利用する静止画を
手軽に撮影するとき

壁紙モード
V402SHのディスプレイに合った
サイズで撮影可能
撮影した静止画を分割して
メールに添付することが可能

V402SHの壁紙に
利用する静止画を
よりきれいに撮影するとき

デジタルカメラモード
最大横1280×縦960ドットの
大きな静止画が撮影可能
SDメモリカード経由で
パソコンなどに取り込み可能
DPOFに対応、V402SHで
プリントアウトの指定が可能

パソコンで加工／印刷するなど、
いろいろな用途に利用できる
静止画を撮影するとき

- V402SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルスチルカメラの画像ファイルなどを、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
ただし、「**DCF規格**」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した中から、プリントしたい画像や枚数などの設定情報をSDメモリカードなどの記　媒体に記するためのフォーマットです。

静止画撮影モードの機能比較

	写メールモード	壁紙モード	デジタルカメラモード
撮影サイズ	横120×縦160ドット（QQVGA） 横120×縦128ドット	横240×縦320ドット（QVGA）	横1280×縦960ドット（Quad-VGA）※1 横1024×縦768ドット（XGA）※1 横640×縦480ドット（VGA）※1
静止画の登録先	V402SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）		V402SHまたはSDメモリカードのデジタルカメラフォルダ（DCIM）
画質	—	ノーマル／ファイン	
ズーム	1～8倍	1～4倍	横1280×縦960ドット：なし 横1024×縦768ドット：1～1.25倍 横640×縦480ドット：1～2倍
ロングメール添付	写メールサイズ	壁紙サイズ／写メールサイズ／分割	サムネイルのみ
ファイル形式	JPEGファイル／PNGファイル	JPEGファイル	
登録可能数(目安)	1600ファイル※2	400ファイル※2	200ファイル※2

※1 デジタルカメラモードで撮影すると、指定したサイズの画像とサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）が同時に保存されます。
※2 お買い上げ時の状態（画像サイズ、画質）で撮影し、V402SHに登　したときの画像数です。

- V402SHのデータフォルダのメモリは、Vアプリライブラリやアクションスナップフォルダなどと共有しているため、他のデータの登　状況によって、撮影（登　）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.7-26を参照してください。

静止画のファイル名

写メールモード／壁紙モード	撮影（登　）日時のファイル名が付きます。（例：2004年07月16日午後12時34分に撮影→「**04-07-16_12-34**」）
デジタルカメラモード	「**VFSH0001**」、「**VFSH0002**」…の順に、ファイル名が付きます。

- 写メールモード／壁紙モードのファイル名は、変更できます。（☞P.12-28）

デジタルカメラモードで撮影した静止画のファイル名は、V402SHでは変更できません。パソコンなどでファイル名を変更すると、V402SHで静止画が表示できなくなることがあります。ファイル名は変更しないことをおすすめします。

静止画を撮影する

ビューアポジションで撮影する

- 各種撮影方法などのメニューの選択画面は、縦向きに表示されます。
- カメラモード選択画面や撮影モードの選択画面では、利用できるボタン操作や内容をディスプレイに表示させることができます。（☞P.7-19）

1 ビューアポジション（☞P.1-11）で、⊖を長く（1秒以上）押す。

お買い上げ時には、写メールモードでカメラが起動します。以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動します。

2 ⓒ（メニュー）を押したあと、「カメラモード選択」を選び、⊖を押す。

3 「1写メールモード」、「2壁紙モード」、「3デジタルカメラモード」のいずれかを選び、⊖を押す。

4 画像をディスプレイに表示する。

- ビューアポジションで使用するボタン：☞P.7-4
- 各種撮影方法：☞P.7-19

5 ⊖を押す。

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

- 撮影のやり直し：ⓒ（1秒以上）➡「1YES」選択➡⊖
- 画像編集：☞P.12-17〜P.12-20
- SDメモリカードへ登　：ⓒ（メニュー）➡「登録先」選択➡⊖➡「2メモリカード」選択➡⊖（登　先を再び変更するまで、SDメモリカードに登　されます。）

注意：シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更できません。

補足：シャッター音のパターンは変更できます。（☞P.7-19）

6 静止画を登録するときは、⊖を押す。

登　中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登　されます。操作4の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

7 モバイルカメラを終了するときは、ⓒを長く（1秒以上）押す。

補足：

登録していない画像があるとき

カメラに戻るかどうかの確認メッセージが表示されます。

- 「1YES」を選び、⊖を押すと、撮影画面に戻ります。
- 「2NO」を選び、⊖を押すと、撮影後の画面に戻ります。

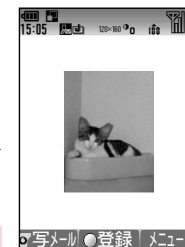
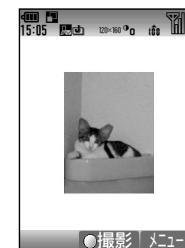
オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する

1 ◉を押したあと、「モバイルカメラ」を選び、◉を押す。

- 待受画面で📷を1秒以上押すと、前回使用していたモードでモバイルカメラが起動します。（お買い上げ時「写メールモード」）
- その他の起動方法：☞P.7-5

2 「1写メールモード」、「2壁紙モード」、「3デジタルカメラモード」のいずれかを選び、◉を押す。

3 画像をディスプレイに表示する。

- カメラ機能で使用するボタン：☞P.7-4
- 各種撮影方法：☞P.7-19

4 ◉を押す。

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

- 撮影のやり直し：クリア➡「1YES」選択➡◉
- 画像編集：☞P.12-17〜P.12-20
- SDメモリカードへ登　：✉（メニュー）➡「登録先」選択➡◉➡「2メモリカード」選択➡◉（登　先を再び変更するまで、SDメモリカードに登　されます。）

注意：シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更できません。

補足：シャッター音のパターンは変更できます。（☞P.7-19）

5 静止画を登録するときは、◉を押す。

登　中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登　されます。操作3の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

6 モバイルカメラを終了するときは、✆を押す。

注意：

セルフショットポジションで撮影するとき

撮影前のディスプレイには、鏡で映したように反転した画像が表示されますが、撮影後のディスプレイには反転していない画像が表示されます。

補足：

登録していない画像があるとき

終了の確認メッセージが表示されます。

- 「1YES」を選び、◉を押すと、撮影した静止画を登　せずに、モバイルカメラを終了し、待受画面に戻ります。
- 「2NO」を選び、◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

撮影後にできること

メモリダイヤル登録	写メールモードまたは壁紙モードで撮影した静止画をメモリダイヤルに登　します。

C／☜（メニュー）➡「6メモリダイヤル登録」選択➡⊖／◉

■ 以降の操作：☞P.5-6操作４

サムネイル登録	デジタルカメラモードで撮影した静止画のサムネイルだけを登　します。

C／☜（メニュー）➡「2サムネイル登録」選択➡⊖／◉

●データフォルダのピクチャーフォルダに登　されます。

サムネイル90度回転	デジタルカメラモードで撮影した静止画を回転し、画像の向きを変えて登　できます。

C／☜（メニュー）➡「3サムネイル90度回転」選択➡⊖／◉

●さらに回転するときは、C（１秒以上）または☜（回転）を押します。

■ 回転後のサムネイル登　：⊖／◉

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にCまたは☜（メニュー）を押すと、次の機能が利用できます。

	機能	説明
表示切替		画面の表示を切り替えます。（☞P.7-19）
モバイルライト設定		モバイルライトの点灯時間とカラーを設定します。（☞P.7-21）
撮影サイズ設定※1		撮影する画像のサイズを設定します。（☞P.7-22）
シーン別撮影		シャッターを撮影シーンに合わせて設定します。（☞P.7-22）
画質設定※2		画質を設定します。（☞P.7-23）
特殊撮影設定	タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.7-20）
特殊撮影設定	連写設定※3	連写モードや連写スピードを設定します。（☞P.7-13）
特殊撮影設定	フレーム設定※3	画像にフレームを設定します。（☞P.7-11）
特殊撮影設定	エフェクト撮影※3	画面の装飾効果を確認しながら撮影します。（☞P.7-12）
特殊撮影設定	ソフトフォーカス※4	画像をソフトにするかどうかを設定します。（☞P.7-22）
オプション設定	シャッター音設定	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.7-19）
オプション設定	保存形式変更※4	静止画の保存形式（色数）を設定します。（☞P.7-23）
オプション設定	登録先	静止画の登　先（V402SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-24）
オプション設定	オートリセット設定	モバイルカメラ終了時に設定内容を元に戻すかを設定します。（☞P.7-24）
データ消去		V402SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-26）
キー操作ガイド		現在の撮影モードで利用できる機能を表示します。（☞P.7-19）
明るさ設定		明るさを調整します。（☞P.7-22）
カメラモード選択		モバイルカメラのモードを設定します。（☞P.7-24）

※1　壁紙モードでは利用できません。
※2　写メールモードでは利用できません。
※3　デジタルカメラモードでは利用できません。
※4　写メールモードで利用できます。

撮影直後（静止画登録前）

撮影直後（静止画登　前）にCまたは☜（メニュー）を押すと、次の機能が利用できます。

■写メールモード／壁紙モード

機能	説明
表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-19）
保存形式変更※1	静止画の保存形式（色数）を設定します。（☞P.7-23）
画像編集	撮影した静止画を編集します。（☞P.12-17～P.12-20）
画質設定※2	画質を設定します。（☞P.7-23）
登録先	静止画の登　先（V402SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-24）
メール添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞P.7-27）
メモリダイヤル登録	撮影した静止画をメモリダイヤルに登　します。（☞P.7-10）
データ消去	V402SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-26）

※1　写メールモードで利用できます。
※2　壁紙モードで利用できます。

■デジタルカメラモード

機能	説明
1表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-19）
2サムネイル登録	サムネイルだけを登　します。（☞P.7-10）
3サムネイル90度回転	サムネイルを90度に回転して表示します。（☞P.7-10）
4画質設定	画質を設定します。（☞P.7-23）
5登録先	静止画の登　先（V402SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-24）
6サムネイルメール添付	サムネイルをメールに添付します。（☞P.7-29）
7データ消去	V402SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-26）

フレームを付けて撮影する

写メールモード／壁紙モードで利用可能

●ボーダフォンライブ！などで入手した画像（透過PNG形式の画像）も利用できます。
●連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。

1 **写メールモードまたは壁紙モード（☞P.7-8、P.7-9）で、Cまたは☜（メニュー）を押す。**

2 **「5特殊撮影設定」を選び、⊖または◉を押す。**

3 **「3フレーム設定」を選び、⊖または◉を押す。**

4 あらかじめ登録されているフレームを利用するとき

1「1固定フレーム」を選び、⊖または◉を押す。

2 フレームを選び、⊖または◉を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ オープンポジションでのフレームの変更：（前へ）／（次へ）

3 ⊖または◉を押す。

オリジナルフレームを利用するとき

1「2オリジナル」を選び、⊖または◉を押す。

●フレームに利用できない画像は、選択できません。

2 フレーム画像を選び、⊖または◉を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：⊖（１秒以上）／（戻る）➡「2 オリジナル」選択➡⊖／◉➡画像選択➡⊖／◉

3 ⊖または◉を押す。

●壁紙モードで、横120×縦160ドットよりも小さいフレームを選択すると、フレームは拡大して表示されます。

フレームを解除するとき

1「3OFF」を選び、⊖または◉を押す。

画面の装飾効果を確認しながら撮影する

写メールモード／壁紙モードで利用可能

●エフェクト撮影は、フレーム撮影およびソフトフォーカスとは併用できません。

1 写メールモードまたは壁紙モード（☞P.7-8、P.7-9）で、Ⓒまたは（メニュー）を押す。

2「5特殊撮影設定」を選び、⊖または◉を押す。

3「4エフェクト撮影」を選び、⊖または◉を押す。

4「1ON」を選び、⊖または◉を押す。

■ エフェクト撮影の解除：「2OFF」選択➡⊖／◉

5 装飾の種類を選び、⊖または◉を押す。

■ 装飾の種類変更：⊖（１秒以上）または（前へ）／Ⓒ（１秒以上）または（次へ）

6 ⊖または◉を押す。

選んだ装飾効果で撮影できる状態になります。

静止画を連続して撮影する

写メールモード／壁紙モードで利用可能

撮影前に連写モードを設定しておくと、４枚または９枚の静止画を連続して撮影できます。また、写メールモードでは25枚の高速連写も利用できます。

撮影した静止画は、連写画像（設定した枚数分の静止画＋分割画像）として登　されます。

●連写モードでは、１枚目のシャッター（⊖／◉）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分撮影されます。

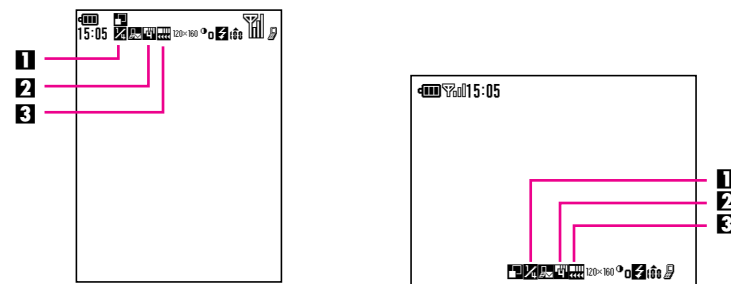
●４枚または９枚連写では、自動的に撮影される間隔（連写スピード）を設定できます。また、回数分シャッターを押す、「**マニュアル**」に設定することもできます。

●写メールモードで撮影する場合に、保存形式を「**PNG形式**」にしているときは、連写撮影できません。

●フレーム撮影またはエフェクト撮影と併用すると、撮影画像によっては登　できないことがあります。

連写画像から１枚の静止画を選択して登　したり（☞P.12-13）、ロングメールに添付して送信する（☞P.7-27）こともできます。

ディスプレイ

●通常のカメラモードのマークについては、P.7-3を参照してください。

1 枚数表示

～：右下の数字は、連写枚数を示します。また、左上の数字は撮影済または表示中の枚数を示します。

：分割画像を確認中に表示されます。

2 連写モード表示

：４枚連写ON／：９枚連写ON／：25枚高速連写ON

3 連写スピード表示

：速い／：やや速い／：普通／：やや遅い／：遅い／：マニュアル

連写モードを設定する

1 写メールモードまたは壁紙モード（☞P.7-8、P.7-9）で、Cまたは✉（メニュー）を押す。

2「5特殊撮影設定」を選び、⊖または◉を押す。

3「2連写設定」を選び、⊖または◉を押す。

4「1４枚連写ON」、「2９枚連写ON」、「325枚高速連写ON」（写メールモード）のいずれかを選び、⊖または◉を押す。

連写モードマークが点灯し（☞P.7-13）、元のモードに戻ります。

- 連写モードの解除：「OFF」選択➡⊖／◉（操作完了）
- 保存形式をPNG形式に設定時：JPEGへの変換確認画面表示➡「1YES」選択➡⊖／◉

注意
- 暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
- モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

連写スピードを設定する

４枚または９枚連写するときの、１枚目のシャッターを押したあと自動的に撮影される間隔（連写スピード）を設定します。

- 設定した回数分シャッターを押す「**マニュアル**」に設定することもできます。
- セルフタイマー（☞P.7-20）を設定しているときは、「**マニュアル**」は利用できません。
- お買い上げ時には、「**普通**」に設定されています。

1 写メールモードまたは壁紙モード（☞P.7-8、P.7-9）で、Cまたは✉（メニュー）を押す。

2「5特殊撮影設定」を選び、⊖または◉を押す。

3「2連写設定」を選び、⊖または◉を押す。

4「連写スピード設定」を選び、⊖または◉を押す。

5 連写スピードまたは「6マニュアル」を選び、⊖または◉を押す。

連写スピードが設定され、連写設定の画面に戻ります。

- ◎を３回押すと、元のモードに戻ります。

連写モードで撮影する

- あらかじめ、連写モードを設定しておいてください。（☞P.7-14）

1 画像をディスプレイに表示し、⊖または◉を押す。

１枚目の静止画が撮影されます。このあと、一定間隔おきに、残りの回数分の画像が撮影されます。

- 連写の中止：C／✉（**停止**）
  - ■中止前に撮影した枚数分の連写画像の登　：上記操作のあと、⊖／◉
- 連写の取消（マニュアル時）：C（１秒以上）／ ◎（**取消**）➡「1YES」選択➡⊖／◉
  （途中まで撮影した画像は消去されます。）

手動（マニュアル）で撮影するとき（4枚連写／9枚連写）
- １枚目の静止画を撮影したあと、同様に残りの回数分シャッター（⊖ ／ ◉）を押します。

2 連写が終われば、合成画像が表示される。

- 連写画像内の静止画の確認：◀▶／◎
- 連写画像内の静止画の登　：◀▶ ／ ◎（画像選択：分割画像も可能）➡C／✉（**メニュー**）➡「2**表示画像のみ登録**」選択➡⊖／◉
- 連写画像内の静止画のメール送信：◀▶／◎➡C／✉（**メニュー**）➡「**表示画像のみ添付**」選択➡⊖／◉
  （画像サイズによっては、選択メニューが表示されます。）

４枚連写

3 連写画像を登録するときは、⊖または◉（登録）を押す。

分割画像と設定した回数分の静止画をまとめた連写画像が登　され、連写モードのまま元のモードに戻ります。

■撮影直後に利用できる機能

画像登　前にCまたは✉（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

1表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-19）
2表示画像のみ登録	撮影した静止画を選んで登　します。
3画質設定※	ノーマル／ファインを設定します。（☞P.7-23）
3登録先	連写画像の登　先（V402SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-24）
4表示画像のみ添付	撮影した静止画をメールに添付します。
5データ消去	V402SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-26）

※ 壁紙モードで利用できます。